



松中だより

令和7年4月8日発行
東松山市立松山中学校
校長 梶田 英司

《学校教育目標》○思いやりのある生徒 ○健康で明るい生徒 ○自ら学習する生徒

入学・進級おめでとうございます！

麗らかな春の温もりを感じつつ、令和7年度入学式・始業式を挙行いたしました。新入生153名、2年生183名、3年生155名、計491名にて新年度が始まりました。充実した1年間になることを心から期待します。



学校教育目標

○思いやりのある生徒 ○健康で明るい生徒 ○自ら学習する生徒

開校から79年目を迎えました。その間在籍した生徒が目標として追い求めたものが標題の学校教育目標です。「思いやりのある生徒(徳)」「健康で明るい生徒(体)」「自ら学習する生徒(知)」で構成されます。社会が加速度的に発展を遂げている今般、学びやコミュニケーションの質的な見直しが求められています。知・徳・体のバランスのとれた未来の人財育成のために教育活動を推進してまいります。

かけがえのない中学校生活を

入学式・始業式では、中学校は大人になるための学びを得る場所とした上で、中学校で身につけておきたいこととして四つ示しました。以下、その要旨です。

1 「礼儀」

第一印象がよい人とは、「おはようございます」「こんにちは」と挨拶ができる人だけではありません。相手に不快感を与えない服装・身だしなみをしていること、時間を守ることなどもあります。中学生らしさもまさにこのことです。

2 「信頼」

「人から信頼される人柄」。これはつきあい始めてわかることですが、物事に前向きな人、思いやりのある人、自分のことは後回しにし、人のために働くなどいろいろありますが、特に社会人として人柄の判断材料となるのが、「約束を破らない人」だと思います。つまり「ウソをつかない・ズルをしない」ということです。

3 「健康な身体」

「自分の命に責任を持てる」人です。礼儀正しく人柄がよくても健康を害すれば、大人の世界で例えれば、会社を休みがちな人は信用されなくなります。中学生の場合、三年生になって、これから大事な受験を控え、風邪を引かないようにするにはふだんからどのようなことに気をつけていかなくてはならないか、自分で自分の健康を管理できる人になってください。こうした人は、自分以外の人や命も大事にします。

4 「教養と判断力」

何でも知っている人というのは相手から見れば魅力的な人です。さらに、物事を深く考え、見通しを立てて行動ができる人というのは多くの人から信頼され尊敬されます。そのためには、ふだんから勉強をするということです。それも人から言われてするのではなく、自分の意思で勉強することが大切です。それには常に目標を立てることが必要です。常に目標をもった勉強を心がけてください。

さらに具体的な下記の8つの生徒像を期待しています。

(1)元気に澆刺と行動できる生徒
(2)将来の夢を持ち、志を立て、学ぶ意欲高く、集中できる生徒
(3)規則正しい生活ができ、心身をきたえる生徒
(4)いろいろなことによく気づき、人の気持ちをよくわかろうとする優しい生徒
(5)先生を信頼する生徒
(6)整理整頓ができ、美しいものに感動し、よく働く生徒
(7)さわやかなあいさつができ、愛校心を持ち、心を込めて歌える生徒
(8)東松山を誇りに思う生徒